



**HAL**  
open science

# フランス研究者による学術文献オープンアクセス提供について

Miyuki Yamamoto

## ► To cite this version:

Miyuki Yamamoto. フランス研究者による学術文献オープンアクセス提供について. *Lettre d'information de la société franco-japonaise des bibliothécaires et des documentalistes*, 2007, 179, pp.2-4. <halshs-00362730>

**HAL Id: halshs-00362730**

**<https://shs.hal.science/halshs-00362730v1>**

Submitted on 9 Nov 2016

HAL is a multi-disciplinary open access archive for the deposit and dissemination of scientific research documents, whether they are published or not. The documents may come from teaching and research institutions in France or abroad, or from public or private research centers.

L'archive ouverte pluridisciplinaire HAL, est destinée au dépôt et à la diffusion de documents scientifiques de niveau recherche, publiés ou non, émanant des établissements d'enseignement et de recherche français ou étrangers, des laboratoires publics ou privés.

## Open access archives of French researchers' academic documents (HAL – Hyper Article en Ligne)

イタリア、ヴェニスで開催された日本資料専門家欧州協会 EAJRS (European Association of Japanese Resource Specialists) 定期会議で発表の機会を得たのでその内容について報告する。

筆者はリヨンの東アジア研究所に勤めている。日本・中国・台湾・韓国・ヴェトナムに関する社会科学分野の研究図書室で、研究所メンバーの要望に即した資料収集とその提供に携わっている。もちろん外部の一般学生や研究者にも利用してもらえらる図書室ではあるが、メンバーの仕事に役立つ手助けをすることが司書の重要な仕事となっている。以前は出来上がった仕事の成果などは司書の手を離れて出版されたものだった。最近はインターネットを使って一早く発表できるようになり、そういった面での研究者への協力も司書の仕事となってきた。

そこで会議の発表では研究所メンバーの研究成果などを、資料として外部に発信・提供する試みについて報告した。HAL – Hyper Article en Ligne と呼ばれる、フランス国立科学研究センターCNRS がイニシアチブをとって推し進めている学術機関リポジトリ計画である。発表タイトルは「フランス研究者(東アジア研究所員)による学術文献オープン・アクセス提供について」とし、セルフ・アーカイビング方式で構築される学術機関リポジトリの説明を加えながら HAL を紹介した。

\*\*\*\*\*

### 学術機関リポジトリ

オープン・アクセスで提供される資料を「ネット上に保存・蓄積される電子化された情報で無料で公開されるもの」と定義し、さらに「掲載も無料でセルフ・アーカイビングできる」という条件を加えると、身近なところでは個人ホームページやウェブログが考えられ、学術分野ではデータベースとしても使えるリポジトリが注目されている。

学術機関リポジトリとは、大学や研究機関の研究者が生産する学術情報を、学問分野ごと或いは機関ごとに電子化して管理(収集・保存)し、無料で公開発信するものである。査読済み学術論文はもちろんのこと、プレプリント、ワーキングペーパー、学会発表ハンドアウト、学位論文等々、研究者自身の判断で何でも自由に載せられることになっている。

資料を探す利用者にとってはネット上の電子図書館と似たようなものだが、提供する側から見ると、専門家(司書)が資料を収集したり入力したりしなくてもデータが自然に増えてアーカイブが構築されていく点が新しく便利である。

## リポジトリ構築ソフトウェア

ホームページやブログ作成のサーバーとソフトがあるように、リポジトリのアーカイブ構築にも色々なソフトがある。基本的には Web 上で簡単なインターフェースを使い、「メタデータ」を入力の上、フルテキスト文書が添付できるようになっている。既存のソフトで有名なものには DSpace, EPrints などがあるが、独自のソフトを開発する機関も増えており、フランス国立科学研究センターCNRS が独自に開発したソフトが HAL – Hyper Article en Ligne である。

### HAL - Hyper Article en Ligne

HAL データベース総合サイト <http://hal.ccsd.cnrs.fr>

リポジトリ構築ソフト Hyper Article en Ligne は国立科学研究センターの開発機関 CCSD (Centre pour la communication scientifique directe) で立ち上げられた。CCSD は科学者同士の迅速な情報交換をうながす目的で、リヨン郊外の自然科学系大学キャンパスの一角に設立された研究機関である。オープン・アーカイブやリポジトリの研究とサポート、独自のサーバーの立ち上げ開発などが行われている。迅速な研究結果発表が望まれる自然科学分野でのリポジトリ需要が高まり HAL 開発が始められ、人文・社会科学分野にも需要は広がり専門サイト HAL-SHS も設立された。東アジア研究所はこのサイトを通してデポジットすることになる。

HAL-SHS (Sciences de l'Homme et de la Société) <http://halshs.ccsd.cnrs.fr>

資料掲載：デポジットは基本的に研究者(著者)自身によるセルフ・アーカイヴィング(ID 登録制)で行う。保存されるコンテンツは完成した研究成果として科学的価値のあるもの、内容的には科学雑誌の査読や学会での発表記事に相当するものでなければならない。また発表済み、発表予定のものは著作権が著者(共著者)だけにあることを確認しなければならない。コンテンツは科学的内容チェックは受けないが、テーマの妥当性と著作権に関しては地域ごとの責任司書チームによって調査される。

資料入手：誰でも自由に無料で資料入手ができる。HAL に保存されたコンテンツはこのデータベースで永久保存、存続が可能で、確実なウェブアドレスを維持する。それ故に普通の科学雑誌にプリント掲載される論文・記事と同じように、他の記事への引用が可能になる。ただし著作権はあくまで著者(共著者)にある。資料利用者は科学出版物の通常の規則にのっとり、オリジナルテキストを尊重し、引用の際は自身のドキュメントに参照情報を明記することが義務付けられる。参照情報には HAL-SHS へのアクセス情報などもふくまれる。

さらに HAL は様々なフォーマットでのリスト作成が容易にできる機能を備えている。フルテキスト文書をデポジットしない場合でもメタデータのみを入力もできるのでリスト作成に便利である。

\*\*\*\*\*

HAL-SHS サーバーは、CNRS の各研究所とその研究員たちの活動に寄与し役立つツールとなることを目指して考案され運用されている。各研究員の自発的な参加に期待し、デポジットするか否かは各自の判断に任されている。そのため登録数はなかなか伸びないのが実情である。新しいツールを積極的に試して使いこなせる人はいいが、時間的余裕がなくて試すことのできない人も多い。東アジア研究所でも利用者は少数にとどまる。ドキュメンタリストが代行することも可能なので、入力すべき資料データの提供を研究員に呼びかけてみる予定である。

東アジア研究所のメンバーには CNRS 研究員だけでなく、リヨン大学や Ecole Normale Supérieure の教員もいる。それぞれの機関にも、EPrints を用いたオープンアーカイブのサーバーがあり、CNRS と同様に登録の呼びかけがあるらしい。大学教員は HAL と所属大学のサーバーと理論的には両方に登録する必要が出てきてしまい、研究所としては HAL ばかりを強制するわけにいかないという問題もある。

人文・社会科学分野のリポジトリはフランスではまだまだ開発途上である。自然科学分野と違って、著作権の問題などネット上公開への課題も多い。たいへんな勢いで開発が進むオープン・アクセス・ドキュメントであるが、適切な情報をしっかり把握して多忙な研究者達の研究成果伝達の協力を努めたい。

## 参考ウェブサイトなど

- ◇ HAL : <http://hal.ccsd.cnrs.fr/>
- ◇ HAL – SHS : <http://halshs.ccsd.cnrs.fr/>
  
- ◇ Institut d'Asie Orientale IAO : <http://iao.ish-lyon.cnrs.fr/Francais/index.html>
- ◇ Centre National de la Recherche Scientifique CNRS : <http://www.cnrs.fr/>
- ◇ Centre pour la Communication Scientifique Directe CCSD : <http://www.ccsd.cnrs.fr>
  
- ◇ Open access Japan : <http://www.openaccessjapan.com/>  
    « オープン・アクセス(Open Access)の理念と実情について、日本語で情報を提供、交換することを目的 » オープンアクセス、セルフアーカイビングに関する概要を解説する英文資料の翻訳等。
- ◇ 機関リポジトリ サポートページ <http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/ir/>
- ◇ 国立情報学研究所 メタデータ・データベース共同構築事業 <http://www.nii.ac.jp/metadata/>